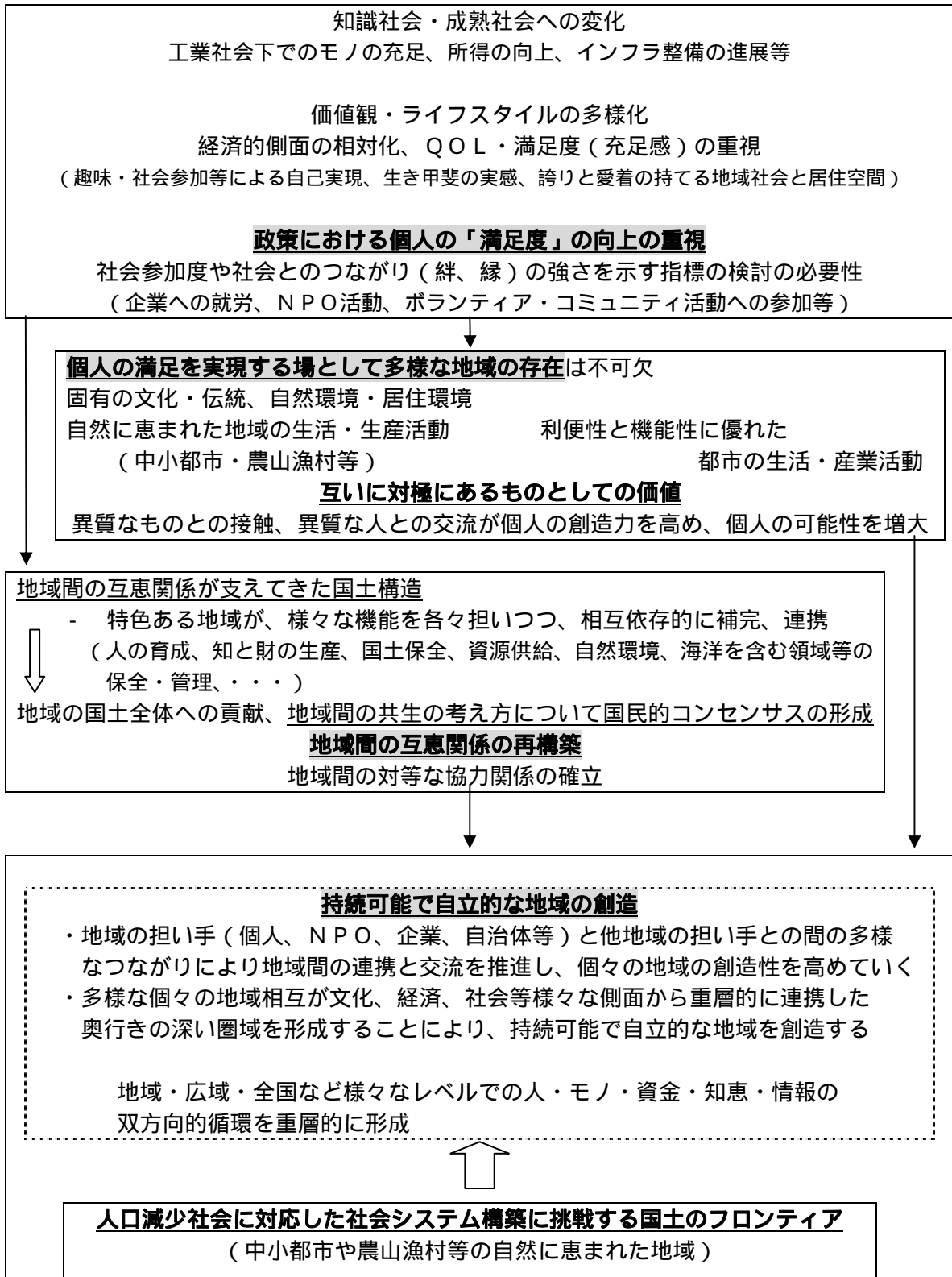


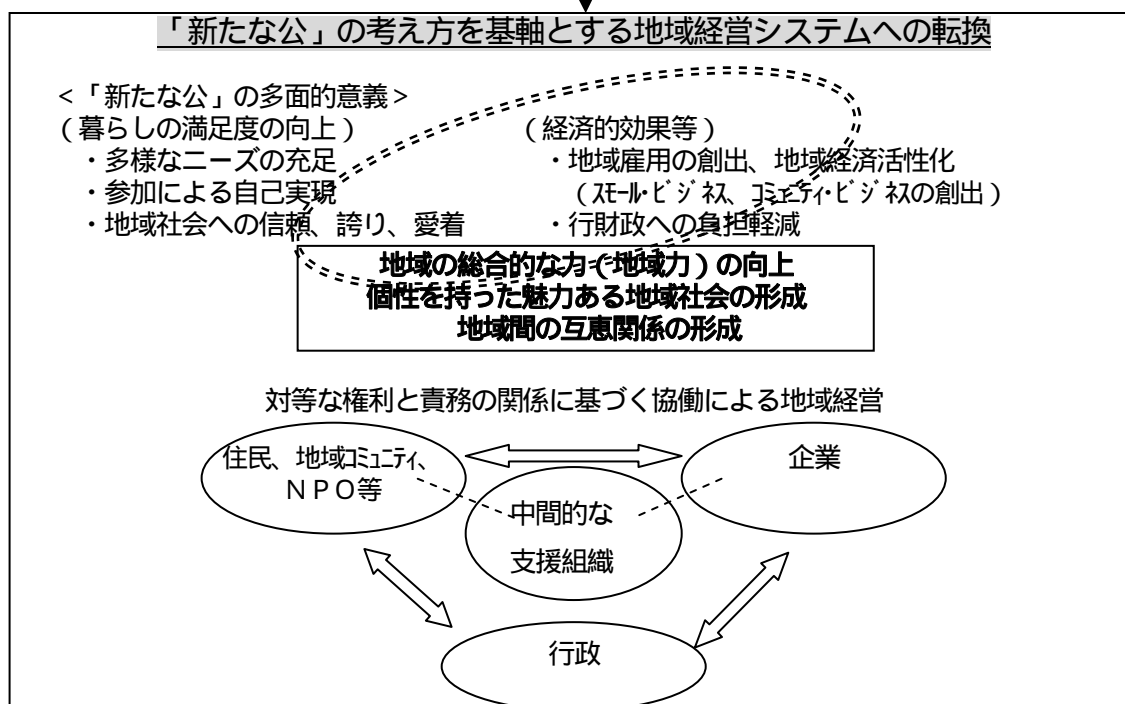
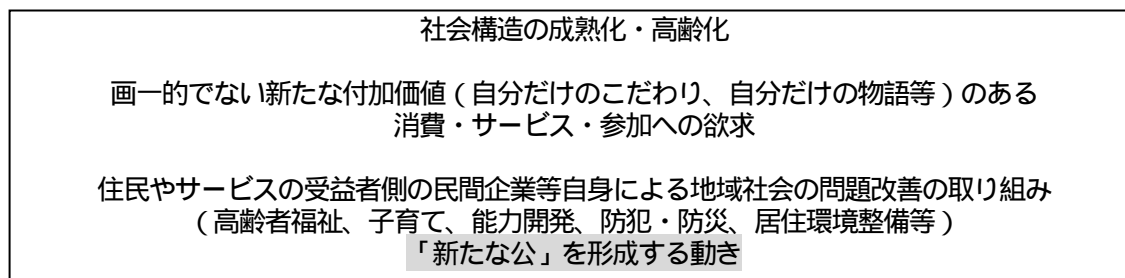
自立地域社会に関する論点と施策の方向性（要旨）

- ・ 多様な地域の維持・活性化の意義
- ・ 「新たな公」の考え方を基軸とする地域経営システムへの転換
- ・ 地域資源を活用した地域の維持・活性化に関する今後の施策の方向性
- ・ 地域活性化のための資金の確保
- ・ 集落の今後のあり方に関する今後の施策の方向性

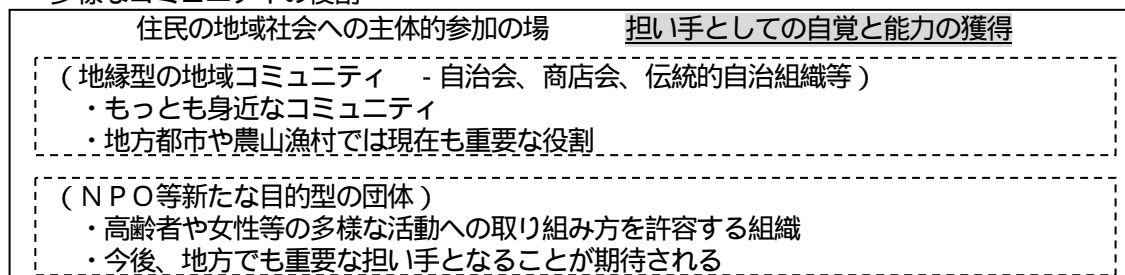
多様な地域の維持・活性化の意義



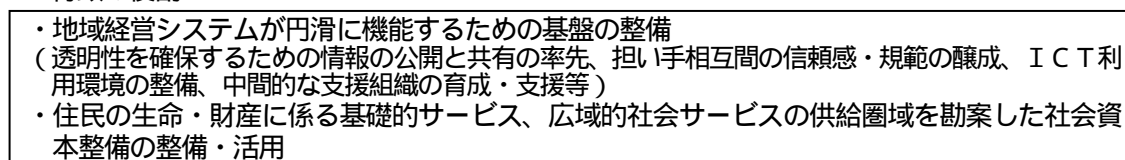
「新たな公」の考え方を基軸とする地域経営システムへの転換



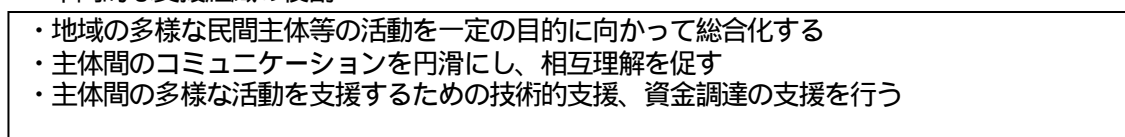
多様なコミュニティの役割



行政の役割



中間的な支援組織の役割



地域資源を活用した地域の維持・活性化に関する今後の施策の方向性

民間の発意・活動を重視した地域活性化

- ・画一的でない、民間主体（地域住民、農林漁業・事業者・その組合組織、地域の企業、NPOなど）を担い手とする地域活性化に転換
- ・高齢者・女性など個人の社会への多様な関わりの機会の創出
- ・ユニバーサルデザインの考え方に基づいた地域設計

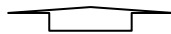
地域資源の発掘・再評価・磨き・活用

- ・地域力の構成要素として環境資本・文化資本等にも注目し、農林水産資源・環境資源・文化資源・観光資源などの競争力の高い資源を発掘し、再評価し、磨き、活用
- ・地域の公設試験研究所、大学、企業との連携によるイノベーション
- ・地域資源の6次産業化、高付加価値化、ブランド化
- ・複数の資源・産業の組み合わせ
（自然学校・ミュージアム空間・産業観光施設の整備、アイランドセラピーの推進 等）
- ・地域資源の特性に応じた様々な循環の形成（地域レベル、広域レベル、全国・海外展開 等）

外部の専門的人材の活用、地域の緩やかな組織化等を通じた多様な担い手の確保

外部の専門的人材の活用と多面的役割

- ・外部の専門的人材の多面的機能
（地域内にはない経験・知見・ノウハウの提供、外部の視点での地域資源の相対的評価、ファシリテーター（世話役）機能、地域内の主体間の触媒機能 等）
- ・様々な専門的知識、高い社会貢献意識、金融資産の蓄積を有する団塊の世代が退職期生産手段の誘致から、専門的能力を有する人材の地域での活用へ
- ・外部の人材・スキル誘導のための仕組みの構築
.....総合的な情報プラットフォーム構築、都市部住宅のリバースモーゲージの適用による地方住居費の確保 等
- ・地域の担い手等の緩やかな組織化
.....業種横断的な企業群、NPOなどの新たな担い手、地域住民、地域のリーダー的人材、必要に応じて外部の人材 等
地域の意識共有・イノベーションへ
- ・多様な組織制度（LLP、LLC等）の活用・公益施設管理等に係る担い手制度の整備



行政の役割

民間の発意・ビジネスマインドの誘導・サポート役への転換（プロデューサー機能）

- ・民間の創意工夫を支援するソフト施策・具体的に必要な基盤整備
（人材・資金のマッチング、リスクヘッジ、担い手形成、活動場所の提供、マーケティング、広報活動 等）

企業力の地域活性化への活用

.....CSR、NPO支援、ボランティア活動参加等

ICTの積極的活用と条件整備

- ・ICTを活用したコミュニティ、ソーシャルキャピタルの強化等
- ・ICTインフラの整備
- ・地域企業の経営者・従業員、地方公務員、女性・高齢者を含めたすべての地域住民の更なるICTリテラシーの向上

地域間連携の推進

地域の機能補完的・相乗的な連携

.....行政境界にとらわれない連携

- 人・モノ・資金・知恵・情報が地域間を移動する国土の形成
- ・ICTを活用した外部への情報発信、ネットワーク形成
- ・定期的な訪問・産品購入等を行う、外部サポーターの確保・活用
- ・交通・ITインフラの選択的・集中的整備

国の役割の在り方：画一的な支援からの転換

地域間の知恵と工夫の競争、潜在力の開花に向けた地域の主体的で即地的な取組が基本国の役割は、

- ・新たな地域社会像の形成の支援、知恵と工夫の競争の環境整備、現状の地域差を前提とした機会均等の観点からの後押し 等
- ・地理的・自然的条件等の不利性による生活・産業の基礎的条件の不備の是正
地域ニーズに沿った実効性・実感ある支援メニューの必要性

地域活性化のための資金の確保

1. 現状認識と対応の基本的考え方

地方における資金循環の現状

- ・個人金融資産 全国約 1500 兆円[うち個人預金(国内銀行)約 342 兆の地方圏シェア約 4 割]
- ・地域預貸率の経年的低下(地方圏は 50%~60%台と極めて低い)
- ・中小企業、NPO など地域活性化の担い手が資金調達の困難に直面

地域活性化のための資金が地域で循環していない

地方における「実感を伴う小さな資金循環」の形成

() 地域市場金融の円滑化

- ・出融資に係る企業情報の非対称性
- ・不動産等の保有資産担保中心の融資慣習(ベンチャー等の審査体制不十分)

貸し手側の審査能力(目利き力) 経営支援能力の強化等

() 「新たな公」の考え方に基づく企業力、個人資産の活用

- ・CSR の考え方に基づく企業力の活用、地域貢献に自らコミットする「志」を持つ個人の資金の活用

民間資金の誘導を促進する気運醸成、枠組みの形成

2. 民間市場での資金確保における取組の方向

中小企業、NPO 等の事業資金等の確保

- ・リレーションシップ・バンキング、コミュニティ・クレジット手法の活用、地域密着型金融の促進
- ・既存金融機関や都市部の専門家のテクニカル・アシスタンス機能の活用 ほか

民間の金融ノウハウを活用した地域における円滑な資金循環の実現

3. 「新たな公」の考え方に基づく「志」がある企業、個人の力の活用等

企業力の地域活性化への活用

- ・CSR の考え方に基づく企業力の地域活性化への活用に向けた工夫・検討等

「志」を持つ個人による地域貢献型の資産活用

- ・地域出身者等の個人が持つ地域貢献の「志」の顕在化、地域貢献の担い手等への投資に向けた気運醸成、税制上の工夫・検討等

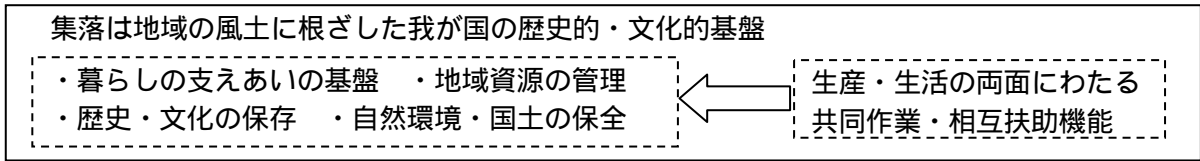
市場における資金循環を誘導する行政の呼び水機能の発揮等

- ・地域貢献事業をファイナンスするファンド組成の支援
- ・NPOバンク、コミュニティファンド等の形成の促進・支援

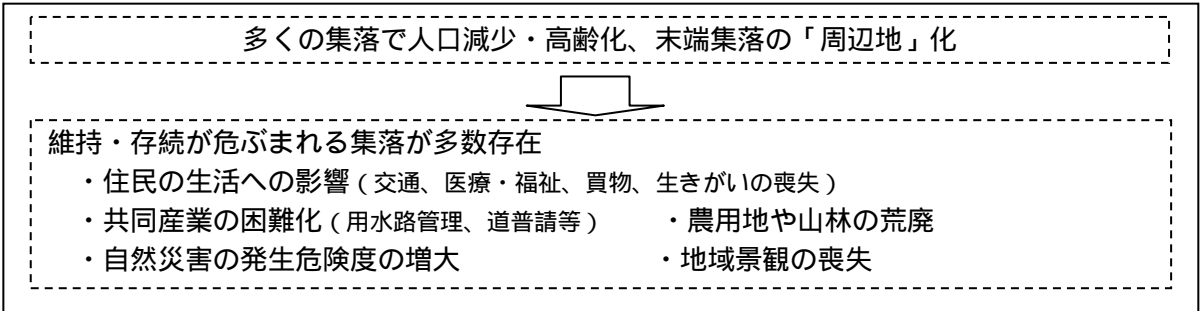
行政の呼び水機能等により「志」ある資金を誘導、
地域貢献投資を促進

集落の今後の在り方に関する今後の施策の方向性

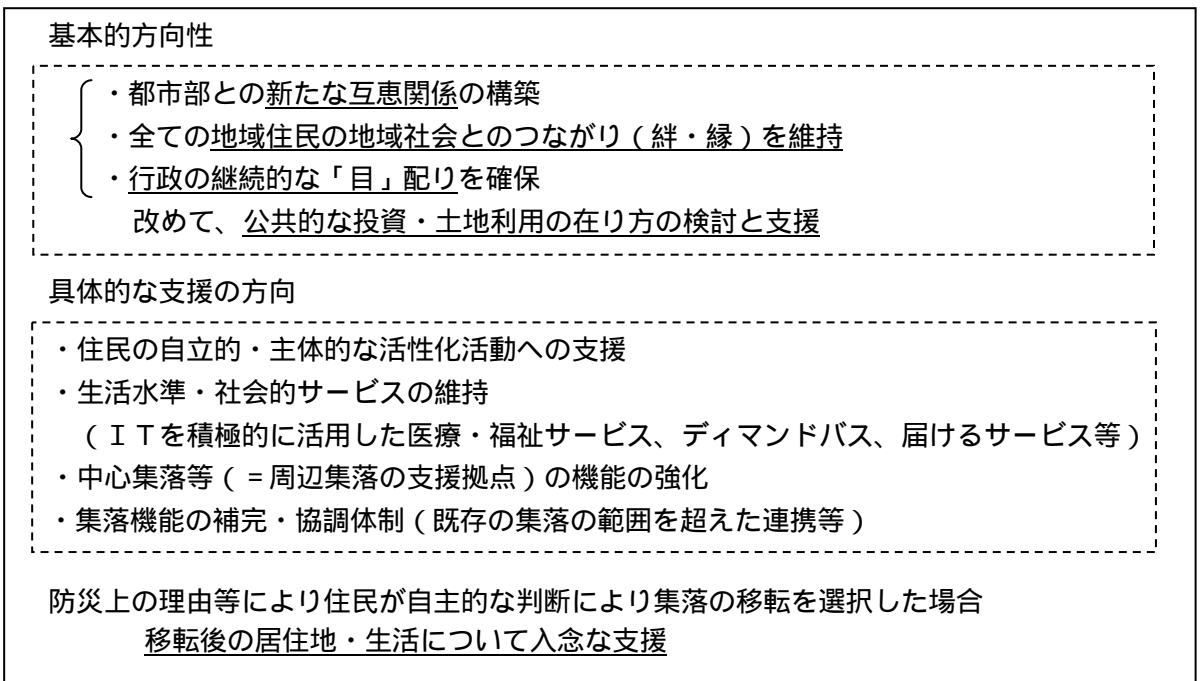
歴史的・文化的基盤としての集落



集落を取り巻く社会構造の変化と集落生活の現状



集落の今後の在り方と支援の方向性



行政による情報の提供と住民との意思疎通、住民の発意・意向に基づき暮らしの将来像についての合意形成が必要

国土保全の観点からの集落管理

